

休 学 願

年 月 日

文学部長・文学研究科長 殿

本人
(自署)

入学年月: _____年__月 専修・専攻分野名 (_____)
課程 (学部・博士前期2年の課程・博士後期3年の課程・研究生等)

学籍番号 _____

氏 名 _____
現 住 所 〒 _____
固定電話等 (_____)
携帯電話等 (_____)

指導教員 署 名	
-------------	--

保護者等
(自署)

氏 名 _____
学生との続柄 _____
現 住 所 〒 _____
TEL (_____)

私は、下記のとおり休学したいので、許可くださるようお願いします。
記

1 休学期間 _____年 _____月 _____日～ _____年 _____月 _____日

2 休学理由 (該当する事項を○で囲み、右欄に詳細を記入すること。)

経済的事情	帰 国	
家庭の事情	留 学	
病 気	語 学 研 修	
進 路 模 索	職業上の都合	
勉学意欲喪失	そ の 他	
再 受 験		

※ 病気及び留学・語学研修の場合は、それぞれ診断書及び許可書を添付すること。

3 休学中の緊急連絡先 (通常はDCメール、及び現住所で連絡するので、確認できるよう手続きを怠らないこと)

〒 _____
TEL (_____) E-Mail _____

【事務確認欄】学生・保護者等は記入しないでください。(授業料・奨学金欄を確認してから受理すること)

授 業 料	㊦	前期分	納入済	月 日	代行・窓口	免除申請中・免除(全額・半額・3分の1)・不許可・猶予中・分納 (_____ 月分まで・休学による免除(全額・ _____ 月分)		
		後期分	納入済	月 日	代行・窓口	免除申請中・免除(全額・半額・3分の1)・不許可・猶予中・分納 (_____ 月分まで・休学による免除(全額・ _____ 月分)		
日本学生支援機構奨学金	㊦	有・無	奨学生番号			異動願(届)	提出済	月 日
支援機構以外の奨学金	㊦	有・無	奨学金名称			異動願(届)	提出済	月 日
休 学 願 受 理 日	㊦	月 日						
学務情報システム	異動情報入力	㊦	入力済	月 日	教授会等承認登録	㊦	登録済	月 日
	入力確認	㊦	確認済	月 日	承認登録確認	㊦	確認済	月 日
前休学期間確認	㊦	～						

休学願い出に関する説明文

- 1 1回の願い出で許可される休学期間は3か月以上1年以内です。
なお、継続して休学する場合は、休学期間終了前に休学（継続）の願い出が必要です。
- 2 休学願には、**保護者等の連署**が必要です。
- 3 理由欄には該当する事項を○で囲み、右欄に詳細を記入してください。
病気の場合には医師作成の診断書（病名等の秘密は厳守します）、留学の場合には受け入れ先の留学許可書（写）又はそれに準ずる書類を添付してください。
なお、理由が外部へ漏れることはありません。
- 4 審議の結果によっては休学が許可されない場合があります。
- 5 休学願の提出にあたっては、**指導教員の署名を必要としますので、署名を得てから教務室へ提出してください。**添付の「休学願等に関する所見について」は、指導教員との面談の際に指導教員へ渡してください。
なお、教授会等で承認された後、休学許可書を送付します。
- 6 休学期間は、授業計画及び授業料の関係で、原則として月単位（月の初日から末日まで）となり、原則として年度をまたぐことはできません。
また、休学期間の初日は、休学願の受理日以前とすることはできません。
提出期限までに提出しない場合は、次学期（次セメスター）の授業料納付義務が生じますから期限を厳守してください。休学について不明な点がありましたら事前に教務室に相談してください。
- 7 休学期間中の連絡は主として DC メールにて行います。確認漏れがないよう、DCメールの設定を再度確認してください。
- 8 休学期間内に、その理由がなくなったときは「復学願」を提出し、復学することができます。なお、病気で休学している場合は、回復した旨の診断書を提出してください。
- 9 休学期間中の授業料は「東北大学学生の授業料の免除並びに徴収猶予及び月割分納の取扱いに関する規程」に基づき、免除されることがあります。ただし、休学期間の初日が授業料の納付期限を過ぎている場合は免除されませんのでご注意ください。不明な点がありましたら教務係に相談してください。
- 10 休学は通算して学部学生及び博士前期課程の学生は2年、博士後期課程の学生は3年を超えることはできません。
- 11 日本学生支援機構の奨学金貸与を受けている方は、貸与休止の手続きが必要ですので窓口に出してください。